

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	塩尻 英明
視察地	茨城県神栖市
視察年月日	2025年1月15日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
神栖市スポーツツーリズムについて	
■目的	
神栖市で行っている合宿や大会の誘致を行っているスポーツツーリズムの取り組みを学ぶもの	
■視察内容	
<p>スポーツ大会の誘致や合宿の誘致を始め、現在3年経つところであるが、海外を含め添付資料の通り多数のスポーツ大会を誘致することに成功している。民間の民宿と協力しながら、主催者や選手等が参加しやすい体制が構築されている。特にサッカーが有名な地域であり、サッカー場に至っては100面を有している。そのうち80面のコートが民間が整備しており環境としてはとても充実している。その他様々な種目を行うことができる環境が整っておりその規模には驚いた。</p> <p>参加者によっては大会へ参加する前後の日程で観光していく方々やプロスポーツの試合を観覧していくという流れがあり経済的な効果も大きい。大きな大会が開催される時期には宿泊施設が足りなくなるということも発生しており、今後の課題とのこと。</p> <p>東北の大震災後に整備した防災公園内に防災アリーナがあり、様々なスポーツを行うことができるが、メインアリーナの観覧席2500席や25mプールについては、時折旭川市議会でも議論されているように誘致できない大会などもあり、神栖市議会の額賀議長は残念だと仰っていた。</p>	
■成果等	
<p>過去に神栖市で合宿をしていた大学が近年は旭川市に来ているパターンもあり、受け入れが苦手な種目も存在するようである。旭川市ではとてもここまでの規模の施設整備は難しいと考えるが、現在受け入れ可能な種目や、ウィンタースポーツなど、ターゲットを絞りながら上手に誘致をすることで今後の取り組みに繋げていきたい。</p>	

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	塩尻 英明
視察地	東京都八王子市
視察年月日	2025年1月16日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
はちっこキッチン（学校給食センターと不登校支援）について	
■目的	
給食センターを活用し、不登校などの児童へ給食の提供を行っているはちっこキッチンでの取り組みを学ぶもの	
■視察内容	
八王子市では給食センターが複数あり、各センターから給食を配送する体制を作っており、親子方式や自校方式は少ない。市長が「学校に来られない子のなかには給食を食べたい子もいるのでは？」という考えと、教育長が給食センターで「ここに来たら食べさせてあげられる？」とぼそっと言葉に出したことでスタートした。	
保護者へはお知らせの通知を届け、児童には添付のように招待状を配布。献立表を見て食べたい給食を児童が予約なしでいつでも無償で給食を食べることができる体制を構築している。予約なしで無償で食べられるというのは全国的にも珍しく、そして難しい取り組みであるが、一人でも多くの児童に外へ出る機会を提供したい、居場所を作りたいという市長始め、担当職員さんの熱意によって成り立っている。事前に連絡をすることで保護者は有料ながら一緒に給食を楽しむことができるのも良い取り組みである。	
給食を食べに来た際には学校に連絡し、出席扱いにすることで保険が適用となることも細部まで気の利いた対応とを感じる。また、学校には内緒にしてほしいという児童もいるため臨機応変に対応されている。	
現在では給食センターが稼働していない日は学童給食も始めており、また、夏休みには子ども食堂のような取り組みも行っており、多くの児童が通うようになっている。	
■成果等	
成果は数字としては出せないが、喜んで食べてくれたり、挨拶してくれるようになったり、児童の小さな変化が重要で、それが感じることで職員としての達成感となっているとのこと。	

予算としてはとても少額で行える取組みでもあり、ぜひとも旭川市でもこういった活動を通じて子どもへの支援を強化してほしいところ。